

◇2023年 年頭所感

九州技術事務所「3つの柱」に関する取組について

九州技術事務所長 小串 俊幸



野の生産性向上を目指し、「防災技術力の充実強化」「建設技術の生産性向上」「人材育成の推進」を3つの柱として業務を推進しております。

発生を想定した訓練を実施し、九州管内はもとより全国での災害発生に際し迅速に対応できるように準備しております。また、火山防災分野においては、平成25年7月に新設された「九州防災・火山技術センター」を中心に、噴火時における立入禁止区域内での安全な調査手法として無人航空機やAI技術を活用した観測技術の開発などに取り組んでまいります。

九州技術事務所においても「九州インフラDX人材育成センター」を令和3年に開設し、建設業界にて主流となる3D測量などの体験ができる体制を構築しています。また、まだコロナ禍の状況によって募集を見合わせることもございますが、当事務所のホームページから申し込みをいただければと思います。また、DX関連技術として、昨年、当事務所は九州地方整備局とともに新たなデジタルデータを活用手法としてのインフラ分野でのメタバース活用技術を開発し、全国で初めて山国川下流地区かまちづくの住民説明会において、社会実装しました。さらに、本技術の普及のため、マニユアルや動画、無償のプログラム、

3Dモデルなどを公開し、学会での発表、大学での講義、自治体・関連団体での講演、YouTube等への投稿等を実施しました。新技術・新工法については、登録受付・審査や関係者向けの説明会を引き続き実施し、九州における更なる普及・活用促進に取り組んでまいります。

「人材育成の推進」においては、平成27年度より無人化施工機械操縦者の育成を目的に無人化施工訓練に取り組みしており、昨年は新たな試みとして遠隔操作の発祥地である雲仙普賢岳のふもとにて訓練を実施しました。火山防災分野においては、全国の整備局職員に火山対策に関する研究成果を周知・展開するとともに、全国の職員が同じ手法で安全

新年明けましておめでとうございます。

平素より、国土交通行政の推進にご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。当事務所は、九州の建設分

地域の発展に貢献する 港湾整備を目指して

唐津港湾事務所長 松延 嘉國



新年明けましておめでとうございます。建設業界の皆様には、平素より港湾行政の推進にご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年新型コロナウイルス感染症拡大に加え、近年の気候変動の影響等により自然災

害が発生しました。当事務所では、唐津港と伊万里港において地域経済の発展と防災・減災、国土強靱化のための港湾施設の整備を進めております。

唐津港では、国内貨物の輸送効率化、大型旅客船への対応、大規模地震発生時の輸送拠点となる耐震強化岸壁等の整備、ならびに予防保全型の老朽化対策として水深7・5m岸壁の改良整備を進めております。耐震強化岸壁は平成28年に暫定供用を開始し貨物船やクルーズ客船等に利用さ

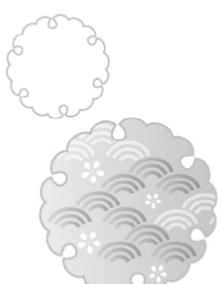
れてきましたが、令和元年10月以降、クルーズ客船の寄港がない状況が続いております。来たるクルーズ客船の受入再開に備えるとともに、大規模地震発生時における大型支援船等の入出港に必要な航路泊地の整備を引き続き進めてまいります。

伊万里港では、港湾関係車両や国際コンテナなど港湾貨物の物流の円滑化、周辺環境への影響を低減するための臨港道路の整備、ならびに伊万里湾大橋の老朽化対策を進めてまいります。国道204号と

結ぶ臨港道路七ツ島線は令和4年8月に供用を開始し、引き続き事業完了に向け仮設棧橋撤去を進めてまいります。

また、事業の実施にあたりましては、ICT浚渫工等の導入推進による生産性の向上や工事発注における働き方改革の取り組みなど、担い手育成・確保につながる活動を建設業界の皆様と連携して進めてまいります。

今後とも地域の発展に貢献する港湾整備や港まちづくりを目指して、事務所職員一丸となって取り組んでまいります。



暮らしに安心を 地球に優しさを届けます 株式会社バイオテックス 代表取締役 原田 烈

環境に配慮した「SDGs」の環に加わり地域に貢献! 朝日テクノ株式会社 代表取締役 法村 孝樹

地域社会に快適な環境 循環型社会を創造 株式会社谷田建設 営業品目: 建造物解体、収集運搬、中間処理、建設汚泥リサイクル、安定型最終処分場

信頼のネットワークを21世紀へ!! 有限会社 佐賀検査サービス 代表取締役 瀧野 虎登